

科目名	人間発達学	担当教員	小塚 直樹 佐藤 拓也 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13C	②					

科目概要	胎生期から成人に至るまで、人間の成長は人間の進化の縮図とも言われる。人間の成長における発達段階を理解することは、原始的な生体反応から成長し完成された生体活動に至るまでの過程や一つ一つの現象のメカニズムを学習することである。様々な疾患によってもたらされる障害の克服のために、人間の発達段階を理解し、それを利用して理学療法・作業療法を展開させる場面も多い。人間の発達を系統発生と個体発生の両面から検討する。人類の起源と進化の問題にふれ、人間の身体の形態的特徴と行動様式について調べる。次に、個体発生の視点から、ヒト新生児の特異性と人間の子どもの成長期の特徴に着目し、人間の発達特性とその意義について学習する。
学習目標	人間の身体、運動、精神的発達を学習し、発達期に生じる障害との関係について理解を深める。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	身体的発達1	総論 発達の特徴 小児期の分類 受精から出生までの発達過程	人間の発達の特徴、小児期の分類について理解する。 受精～出生過程、胎児発達に影響を与えるリスク因子、分娩・出生時の異常・合併症などについて理解する。	小塚
2	身体的発達2	新生児の体格・発育評価 粗大運動の発達段階	新生児の平均的な体格、生後の発育評価、粗大運動の発達段階について理解する。	小塚
3	身体的発達3	出生からの乳幼児期における脳の成熟と姿勢反射・反応、粗大運動発達との関連	中枢神経の成熟と姿勢反射・反応、粗大運動発達との関連について理解する。	小塚
4	身体的発達4	姿勢別に見た粗大運動の発達過程 微細運動（手）の発達過程・粗大運動発達との関連	粗大運動について姿勢別に見た発達過程を理解し、微細運動（手）の発達過程との関連について理解する。	小塚
5	精神的発達1	乳児期～老年期の精神的発達	乳児期から老年期の精神的発達過程の概要を理解する。	佐藤
6	精神的発達2	視覚、認知機能の発達過程	視覚、認知機能の発達過程について理解する。	佐藤
7	精神的発達3	情緒、社会性、言語機能の発達過程	情緒、社会性、言語機能の発達過程について理解する。	佐藤
8	精神的発達4	精神的発達に関連する各機能と発達期に生じる障害	精神的発達に関連する各機能と発達期に生じる障害との関係について理解する。	佐藤
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		細田多穂（監）、他・著『人間発達学』：シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 人間発達学テキスト』南江堂、2014年		
参考図書		特に指定しない。		

学習の準備	1. (予習) 次回のテキスト等の通読と用語の確認をする (90分)。 2. (復習) 講義内容の理解/不十分である箇所を明確にし、不十分な箇所は担当教員に質問できるよう準備する (90分)。
オフィスアワー	火曜日～金曜日 13時～17時 随時
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経験	